

第2章 機能を考慮した医療提供施設の整備目標

第6節 歯科保健医療対策

【現状と課題】

現 状

国においては、歯科口腔保健の推進に関する法律等が整備され、愛知県においても、あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例が平成25年3月29日に公布・施行され、同時期に愛知県歯科口腔保健基本計画が策定されました。

1 歯科医療対策

(1) かかりつけ歯科医の推進

- 平成24年生活習慣関連調査によると、かかりつけ歯科医を持つ者の割合は74.0%で、県全体75.7%とほぼ同じような状況です。

(2) 病診連携、診診連携の推進

- 平成21年度愛知県歯科医療機能連携実態調査（愛知県健康福祉部）によると、歯科診療所が医療連携をしている率は70.8%であり、疾患別にみても、がん36.9%、脳卒中39.9%、急性心筋梗塞37.5%、糖尿病59.5%ですが、市町によって違いがあります。（表2-6-1）
- 『糖尿病治療ガイド2008-2009』から糖尿病合併症とその対策の項に歯周病が加わり、糖尿病患者の合併症である歯周病の管理ができる連携体制の整備を保健所が進めています。
- 半田市医師会、東海市医師会、知多郡医師会並びに市立半田病院及び厚生連知多厚生病院と歯科診療所が連携し推進しています。知多半島圏域の3つの歯科医師会が行った平成25年度の調査によると、糖尿病の合併症である歯周病を管理している歯科診療所は20.7%です。
- 市立半田病院では、糖尿病教育入院時にすべての患者に対して歯周病検査を実施し、教育入院時の教育プログラムを充実させています。
- 厚生連知多厚生病院では、外来者糖尿病教室時に歯科に関する内容を充実させています。

課 題

愛知県歯科口腔保健基本計画に掲げられている目標値達成に向けて圏域内の問題点や課題の整理をし、課題解決に向けた取り組み内容について保健所で開催する8020運動推進連絡会議等で検討をしていく必要があります。

- かかりつけ歯科医機能について、十分啓発し、住民が口腔の定期管理ができるよう積極的に推奨していく必要があります。
- 医科歯科機能連携の充実を図るため、関係者間の情報の共有化と相互理解を深めていく必要があります。
- 「医科と歯科」「歯科と歯科」の病診連携・診診連携を推進することにより、糖尿病やがんの治療効果が一層期待できるシステムを確立する必要があります。
- 糖尿病と歯周病の関係を踏まえ、病院における糖尿病教育プログラムに歯科に関する内容を定着させるとともに、糖尿病連携手帳を活用した顔の見える連携を、病院・診療所と歯科診療所が一層充実させる必要があります。

- 東海市民病院では、糖尿病外来において、年1回程度歯科に関する啓発を行っています。
 - がん患者の周術期の口腔管理を、厚生連知多厚生病院と連携して実施している歯科診療所は3医療機関ありますが、市立半田病院及び東海市民病院では院内で周術期の口腔管理を行っています。
 - 高齢者の増加に伴い、介護予防の観点から、保健所や市町では、口から食べることを支援するための口腔機能向上に関する知識の普及啓発を行っています。
- (3) 在宅療養児・者歯科医療体制
- 平成21年度愛知県歯科医療機能連携実態調査(愛知県健康福祉部)によると、在宅療養児・者等要介護者への歯科診療について、訪問歯科診療の実施率は、患者の自宅が30.4%、施設等が14.3%です。また、介護保険対応の状況をみると、歯科医師・歯科衛生士による在宅療養管理指導はそれぞれ7.7%、6.0%です。(表2-6-2)
 - 在宅療養児・者への歯科診療や口腔ケアの重要性についての認識の共有化が関係者間で進んでいません。
- (4) 障害児・者への歯科医療体制
- 半田歯科医療センター及び103か所(61.3%)の歯科診療所で対応し、社会福祉施設等の通所者・入所者に対する歯科健診や口腔ケア指導は、地区歯科医師会や歯科衛生士会の活動や市町等の支援により対応しています。(表2-6-2)
- (5) 救急歯科医療の対応
- 半田歯科医療センターが日祝日の9:00～13:00に対応をしています。また、平成21年愛知県歯科医療機能連携実態調査(愛知県健康福祉部)によると、第1次(初期)救急医療体制に参加している歯科診療所は65か所(38.7%)、休日もしくは夜間の救急患者の受け入れをしている歯科診療所は39か所(23.2%)で、市町によってばらつきがあります。(表2-6-1)
- がん患者の周術期の口腔管理は、今後ますます需要が増加することが予測されるため、歯科診療所での対応ができるようにしていく必要があります。
 - 医療機関、保健所・市町等は、摂食・嚥下について、住民に対する普及啓発と医療供給体制の確保が必要です。
 - 在宅療養児・者への対応ができる歯科診療所を増加させる必要があり、また、要介護者への在宅療養管理指導の対応ができる在宅療養支援歯科診療所の増加を図る必要がありますが、人材の確保に係る問題解決に着手する必要があります。
 - 口腔ケアの実践が気道感染予防につながるなど、口腔ケアの重要性を広く啓発するとともに、在宅療養児・者の在宅支援につながる歯科医療関係者の医療チームへの参画を図る必要があります。
 - 保健所や市町は、歯科健診や歯科治療、口腔ケアの重要性を広く啓発するための研修会を行う必要があります。
 - 半田歯科医療センターにおける救急歯科医療の供給体制を今後も継続して確保するとともに、住民が休日・夜間等に救急対応ができる歯科医療機関を検索できるよう、あいち医療情報ネット(愛知県救急医療情報システム)などの活用について周知していく必要があります。

2 歯科保健対策

(1) ライフステージに応じた歯科保健対策

- 平成 23 年度愛知県母子健康診査マニュアル報告によると、幼児のむし歯経験者率は1歳6か月児で1.21%、3歳児では11.01%で、それぞれ、県平均1.57%、14.44%と比べ、良い傾向にあります。(表2-6-3)
- 2歳児を対象とした歯科健康診査事業、フッ化物歯面塗布がすべての市町で実施され、乳児から幼児期までの一貫した健診管理体制が整備されています。
- 歯の健康を守るため、集団フッ化物洗口を、幼稚園・保育所(園)、小学校、中学校において実施していますが、平成24年度末の実施状況としては、5市4町の幼稚園・保育所(園)57施設、小学校34校、中学校4校で実施されています。
- 健康日本21あいち計画の指標とした「小学校3年生時点の第一大臼歯がう蝕のない児童の割合」についてみると、平成14年度には77.3%でしたが、平成23年度には89.8%と大きく改善しています。
- 成人・高齢者を対象とした歯周病対策として節目歯科健康診査が全市町で実施されています。受診者数は市町によって異なりますが、50歳の受診者数が少ない傾向にあります。(表2-6-4)
- 特定健診の結果を踏まえた特定保健指導実施時、「糖尿病と歯周病の関係」「喫煙の歯周病に対する影響」について全ての市町で健康教育を実施しています。
- 平成24年生活習慣関連調査によると、歯・口腔の健康と糖尿病が関連あることをしている者は29.4%、誤嚥性肺炎23.1%、がん12.6%と、周知が十分ではありません。
- 「80歳歯の健康づくり実態調査」(常滑市、南知多町)による80歳で20本以上歯を持っている人の割合は、平成17年度は28.3%でしたが平成21年度53.6%となっています。
- 高齢者を対象に、介護予防の視点で口腔機能向上の取組が全市町で実施されていますが、地域により実施状況は異なります。
- 愛知県母子健康診査マニュアルに基づき、市町の特性にあわせた効果的な歯科健康診査、保健指導を行う必要があります。保健所は市町と協働して事業評価に努める必要があります。
- 保健所は、市町と協働し、幼児・児童・生徒の歯の健康状態の把握を行うとともに、そのデータ分析の結果をもとに、永久歯の歯の健康を守ることを目指した幼稚園・保育所(園)、小学校、中学校における集団フッ化物洗口を推進し、実施施設に対しては、むし歯予防(抑制)効果の評価支援を行います。
- 愛知県歯科口腔保健基本計画では、歯科疾患の予防の観点から第一大臼歯の健康状態を指標としているため、今後も、市町教育委員会等の協力のもと、小学校在学中の第一大臼歯の健康状態の把握をしていきます。
- **歯周病予防は、若い世代から取り組むことが有効であることから歯周疾患検診の充実と併せて40歳未満の若い世代からの健診体制を強化していく必要があります。**
- 市町や保健所は職域と連携し、住民が歯と口の健康に関心を持つことができるよう、効果的な啓発に努め、節目歯科健康診査受診者の増加を図る必要があります。特に、歯周病のハイリスク要因といわれる糖尿病と喫煙、口腔ケアとがん、誤嚥性肺炎との関連についての知識の普及啓発が必要です。
- 包括支援センター等と連携を図り、口腔機能向上に関する知識の普及啓発、気道感染予防のための口腔ケアサービス供給

(2) 地域歯科保健情報の把握・管理と人材育成

- 保健所は、地域歯科保健業務状況報告、母子健康診査マニュアル報告、地域保健・健康増進事業報告等から、地域歯科保健データを収集・分析し、それらの結果をもとに事業評価を行い、関係機関との情報交換をしています。
- 平成 25 年 4 月 1 日現在、市町における歯科衛生士の配置状況は、5 市 1 町で正規職員が配置されていますが、4 町では日々雇用者による歯科保健業務対応をしています。
- 保健所は、地域の歯科保健の向上を図るため、市町歯科保健関係者、施設関係者等を対象にした研修会を開催しています。

体制の確保を積極的に行う必要があります。

- 市町・地区歯科医師会等関係者間で、歯科保健データの分析、事業評価を行い、その結果や課題を関係者間で共有し、問題解決に向けて行動する必要があります。
- 地域の歯科保健医療対策の推進を図る上で歯科衛生士の充実です。
- 地域の課題にあわせた研修を、保健医療福祉関係者、職域等関係者を対象に企画開催するとともに、人材育成を図る必要があります。

【今後の方策】

- 8020 運動推進連絡協議会等を活用し、地域における保健医療の供給体制の整備を図るための検討をするなど健康日本 21 あいち新計画に示されている目標値の達成を目指してライフステージに沿ったむし歯対策および歯周病対策を推進し、8020 達成を目指します。
- かかりつけ歯科医を持ち、定期的な健康管理ができるような環境整備に努めるとともに、住民に対するポピュレーションアプローチに努めます。
- 糖尿病患者やがん患者等の歯周病対策については、ハイリスクアプローチの一つとして医科歯科医療連携が円滑に推進されるよう、地域における医療の供給体制について関係者が情報を共有できる環境整備を図ります。
- 障害児（者）や要介護者等の医療提供体制を整備するとともに、歯科疾患の重症化を予防し、口から食べることを支援する口腔ケアサービスが提供されるよう環境整備を図ります。
- 保健所は、愛知県歯科口腔保健基本計画の指標が達成できるよう、データの収集、分析、評価、還元を行い、地域の課題を明確化し、その対応策を検討していきます。また、人材育成など市町の求めに応じた支援を積極的に展開していきます。

(参考図表)

表2-6-1 歯科診療所の歯科医療提供状況

市町名	診療所数(件)	回収件数	第1次救急対応実施 歯科診療所	医療連携体制を整えている 歯科診療所	(連携疾患の内訳)			
					がん	脳卒中	急性心筋梗塞	糖尿病
半田市	52	39	66.7%	74.4%	9	8	10	28
常滑市	21	15	0.0%	66.7%	6	7	6	10
東海市	44	27	11.1%	74.1%	12	13	12	18
大府市	34	25	80.0%	64.0%	12	13	12	14
知多市	35	18	0.0%	83.3%	6	7	8	13
阿久比町	10	8	75.0%	50.0%	2	3	2	4
東浦町	18	13	46.2%	84.6%	7	8	7	9
南知多町	12	6	0.0%	33.3%	0	0	0	2
美浜町	11	6	0.0%	66.7%	3	2	2	4
武豊町	17	11	36.4%	72.7%	5	6	4	8
当医療圏	254	168	38.7%	70.8%	62	67	63	110
愛知県	3,658	2,333	56.2%	78.0%	1,199	1,150	1,123	1,518

資料：平成21年度愛知県歯科医療機能連携実態調査（愛知県健康福祉部）

注：表中の％は回収件数に対する割合

表2-6-2 在宅歯科医療サービス、介護保険サービス等の状況

市町名	診療所数(件)	回収件数	障害児(者)治療実施 歯科診療所	歯科訪問診療実施状況		居宅療養管理指導実施状況	
				患家(患者の自宅)	患家以外	歯科医師による	歯科衛生士による
半田市	52	39	64.1%	25.6%	5.1%	7.7%	5.1%
常滑市	21	15	73.3%	53.3%	33.3%	0.0%	0.0%
東海市	44	27	63.0%	40.7%	14.8%	3.7%	7.4%
大府市	34	25	64.0%	16.0%	16.0%	8.0%	8.0%
知多市	35	18	44.4%	38.9%	16.7%	11.1%	5.6%
阿久比町	10	8	75.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
東浦町	18	13	61.5%	30.8%	7.7%	15.4%	7.7%
南知多町	12	6	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
美浜町	11	6	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
武豊町	17	11	63.6%	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%
当医療圏	254	168	61.3%	30.4%	14.3%	7.7%	6.0%
愛知県	3,658	2,333	63.5%	29.7%	19.5%	10.5%	4.9%

資料：平成21年度愛知県歯科医療機能連携実態調査（愛知県健康福祉部）

注：表中の％は回収件数に対する割合

表2-6-3 1歳6か月児、3歳児、12歳児のむし歯経験者率（平成23年度）

	1歳6か月児	3歳児	12歳児
半田市	1.33	12.27	38.88
常滑市	2.10	10.75	31.79
東海市	1.74	11.39	42.47
大府市	0.81	9.17	25.09
知多市	1.21	10.11	46.68
阿久比町	0.30	10.00	16.53
東浦町	0.22	8.03	20.69
南知多町	1.48	21.48	48.21
美浜町	0.71	16.76	45.35
武豊町	1.06	10.78	40.22
当医療圏	1.21	11.01	36.44
愛知県	1.57	14.44	32.98

資料：1歳6か月児と3歳児は母子健康診査マニュアル報告、12歳児は地域歯科保健業務状況報告（愛知県健康福祉部）

注：愛知県の値は名古屋市を除く

表2-6-4 歯周疾患検診状況

市町名	40歳		50歳		60歳		70歳	
	受診者数	CPIコード3以上の者(%)	受診者数	CPIコード3以上の者(%)	受診者数	CPIコード3以上の者(%)	受診者数	CPIコード3以上の者(%)
半田市	635	20.0	481	24.9	679	28.9	482	29.5
常滑市	553	22.2	484	30.0	840	51.3	466	36.9
東海市	398	45.7	237	47.7	382	60.2	666	64.7
大府市	408	12.7	187	19.8	269	29.4	272	31.3
知多市	432	28.0	310	31.0	439	35.5	541	47.9
阿久比町	113	13.3	137	28.5	211	32.7	230	41.3
東浦町	482	25.1	323	31.0	690	45.1	687	48.6
南知多町	56	26.8	46	19.6	54	38.9	51	47.1
美浜町	22	0.0	10	60.0	19	42.1	6	50.0
武豊町	224	31.3	160	35.6	240	42.5	321	53.0
当医療圏	3,464	24.6	2,444	30.1	3,823	41.9	3,722	46.1
愛知県	6,034	26.4	3,758	34.4	4,797	42.1	5,724	45.4

資料：老人保健法及び健康増進法に基づく歯周疾患検診実施状況報告（愛知県健康福祉部）

注1：表中の市町及び医療圏計の値は、平成19年度から平成23年度までの5年間の合算による値

注2：愛知県の値は名古屋市を除く平成23年度の値

注3：CPI（Community Periodontal Index） 地域における歯周疾患の実態を把握する指標

コード0；健全

コード1；出血あり

コード2；歯石あり

コード3；4～5mmに達する深さの歯周ポケットがあるもの

コード4；6mmをこえる深さの歯周ポケットがあるもの